

眩輝

げん き

佐世保市立江迎中学校
学校だより NO. 15

校長 山邊 修治 平成29年8月9日(水)



県民祈りの日「長崎原爆の日」



1945年8月9日午前11時02分、長崎市に原爆が投下され、多くの尊い命が失われました。その3日前には広島市にも原爆が投下され、多くの犠牲者を出しました。戦後72年を経過しても、今なおその後遺症に苦しむ人たちがいることを考えれば、原爆がいかに非人道的な兵器であったかがわかります。しかし、世界では未だに多くの核兵器が生み出され、その脅威は減るところかさらに増幅しているように思います。広島・長崎で原爆の犠牲となられた人たちのためにも、

今後地球上で核兵器が使用されることが決してあってはならないと思います。

本校でも本日、「平和集会」を開き、長崎原爆がもたらした被害についてしっかりと学ぶとともに、地球上で二度と核兵器が使用されないよう、平和な世界を作っていくために何が必要かを全員で考えました。今日の活動は、これからの世界を創り上げていく子どもたちが平和について真剣に考え、将来において自分たちが果たすべき役割を思い描く貴重な時間となりました。我々日本人だけではなく、全世界の人たちが平和を希求し、その実現に向けて努力していけば、戦争や紛争のない平和な世界が実現できると思います。



長崎県中学校総合体育大会・水泳競技

7月29日(土)・30日(日)に長崎市民総合プールにおいて長崎県中学校総合体育大会水泳競技が実施されました。本校から、3年生の中原丈一郎さんと村上愛優加さんが出場しました。中原さんは400m個人メドレーにおいて決勝進出を果たし、決勝でも6位入賞という素晴らしい結果をおさめました。また、村上さんは自由形2種目に出場し、力強い泳ぎで上位を目指しましたが、両種目とも予選9位となり、後一步のところで決勝進出を逃しました。二

人とも、夏休みに入ってから練習を続け、今大会でベスト記録が出せるよう努力をしていたと思います。二人のがんばりに大きな拍手を送りたいと思います。本当にお疲れ様でした。



「災害への備え」

他県では大きな災害等も発生して、不自由な生活を強いられている方々もおられます。35年前、「長崎大水害」の日、私は午前中まで長崎市内にいました。用事が早く済んだので昼過ぎに長崎市を出ました。ところが、佐世保市内に戻った頃からひどい雨が降り出し、市内もあちこちで道路が冠水しました。自宅に戻りテレビをつけた途端、長崎市内のとんでもない状況が映し出されました。数時間前まで自分がいたところとは思えないような悲惨な状況でした。これから台風接近の恐れもあります。日頃から災害時の避難について確認し、いざというときに落ち着いて行動できるように備えたいものです。



